



まっすぐ▶あなたに。
まっすぐ▶未来へ。

京都市議員 西山のぶまさ



下京 まっすぐジャーナル

Shimogyo Massugu Journal

第3号 2016.October

京都市議員 西山のぶまさ事務所
京都市下京区大宮通木津屋橋上る上之町417-1
ナカキズフラット201号室 〒600-8266
TEL:075-746-2725 FAX:075-320-2454
✉ n.n.massugu24@gmail.com

魅力ある下京のまちづくりへ。 “まっすぐ”前進!

2019年開業予定の「梅小路」新駅の建設工事もいよいよはじまり、京都市中央卸売市場第一市場の施設整備、京都市立芸術大学の移転など、下京区内でビッグプロジェクトが大きく動いています。

魅力ある下京のまちづくりへ向け、これからも地元の皆さんと共に、一生懸命頑張ります。



「京都鉄道博物館」がオープン

4月29日、待望の「京都鉄道博物館」がオープン。下京区の西部エリアが「鉄道の聖地としての飛躍」に向け、大きく前進を開始しました。

オープンを目前に控えた3月には、京都駅から梅小路公園までを楽しく快適に歩いて移動できるように、様々なモニュメントやフラッグなども設置されました。



「クレジットカードによる納税」が実現

西山のぶまさ氏が昨年の9月市会の決算特別委員会で強く訴えた「クレジットカードによる納税」が、平成28年度から新たに導入されました。時間や場所に関係なく納税が可能になるなど、納税環境が改善されています。

「まちづくり委員会」に所属／「市会改革推進委員」にも選任

西山のぶまさ氏は、平成28年度は「まちづくり委員会」に所属しています。同委員会は、市の都市計画や建設を所管する委員会です。下京区はもちろん、京都市全体の魅力あるまちづくりを進めるため、しっかり議論し、力を尽くしてまいります。

新たに、市会改革推進委員にも選任されました。議会機能の充実・強化、市民の皆様が一層開かれた市会を目指して、全力で取り組んでまいります。

●「京都市議員 西山のぶまさ事務所」を開設

このほど「京都市議員 西山のぶまさ事務所」を開設しました。皆様の声をまっすぐ市政に届けられるよう、政務活動の更なる充実に努めてまいります。ご意見・ご要望を是非お寄せください。

西山のぶまさ事務所

所在地：京都市下京区大宮通木津屋橋上る上之町417-1
ナカキズフラット201号室
TEL:075-746-2725 FAX:075-320-2454
✉ n.n.massugu24@gmail.com



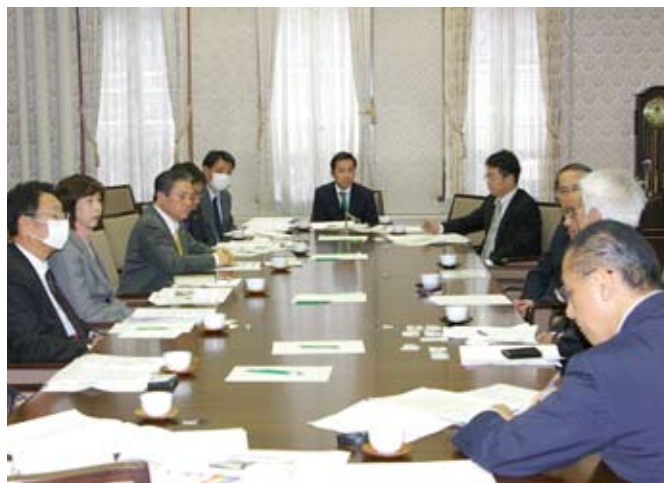
まっすぐ!▶あなたに。

西山のぶまさの日々の活動から

京都市で「手話言語条例」が成立

3月25日、京都市会で「手話言語がつなぐ心豊かな共生社会を目指す条例」(手話言語条例)が市議員全員による共同提案のうえ、全会一致で可決しました。公明党では、昨年12月、京都市聴覚障害者協会と意見交換会を実施するなど、同条例の成立に全力で取り組んできました。

私自身も、議員になる前の公務員時代、手話通訳者の派遣や制度整備に携わったことがあり、手話も少し学びました。それだけに喜びもひとしおで、障がいをもつ方々がもっと暮らしやすくなる社会を実現するため、決意を新たにしています。



「ママカフェ」に参加

6月20日、NPO法人子育て支援コミュニティおふいすパワーアップ主催の「京都の少子化を止めたいママカフェ」に参加しました。ママの困りごとを現役パパ議員に聞いてもらおうとの趣旨で開催され、育児休業中に直面する「保活」の現状など、生の声をたくさん聞かせていただきました。

京都市では、子どもや子育て等に関する業務を総合的に担う「(仮称)子ども若者はぐくみ局」を来年度創設するべく準備中です。カフェでいただいた貴重な意見もふまえ、子育て支援の充実に向け、しっかり議論を深めてまいります。

帰宅困難者対策について研究発表

8月4日、名古屋市内で開催された公明党五大市政策研究会において、災害時の観光客帰宅困難者対策について研究発表しました。

京都市では、清水・祇園地域、嵯峨・嵐山地域において、帰宅困難観光客避難誘導計画が策定されるなど、地域の皆様のご協力のもと、全国に先駆けて、観光客に特化した帰宅困難者対策が進んでいます。他市の防災・減災の取り組みも学びながら、今後もあらゆる角度で、より多くの人の生命を守るため、防災・減災の充実に関心を持ってまいります。



まっすぐ!▶未来へ。西山のぶまさからのメッセージ

昨年、9月市会の決算特別委員会の市長総括質疑で、私は、災害時における行方不明者の氏名公表のあり方について質問しました。実は、氏名の公表にあたって明確なルールがなく、直前に起こった台風18号による豪雨災害では、被災者の安否確認をめぐる情報が混乱したからです。

市からは「庁内でワーキンググループ(作業部会)をつくりたい」との答弁があり、翌日の京都新聞には「大規模災害時の不明者／氏名公表基準策定へ」との見出しで大きく取り上げていただきました。

政令指定都市で、氏名公表の基準がある市は、当時ありませんでした。被災者の氏名公表は災害直後、最もニーズが高い反面、個人情報との関係で、大変難しい問題を抱えています。京都

市は、昨年12月、答弁通り、部会を設置して検討を始めました。

私一人の質問ですべてが動いたわけではないでしょうが、それでも万一、私があの時、質問をしていなかったら、このような対策が進んでいなかったかもしれないと考えると、1回1回の会議で、本当に必要な質問をタイムリーに取り上げられるかどうか、市議員という仕事の責任の重さを改めて実感しています。

西山のぶまさの議員活動も2年目に入っています。もっとも皆様のお役に立てるよう、これまで以上に研鑽と努力を重ね、力を磨いてまいります。



▶西山のぶまさ ホームページ <http://www.nishiyama-massugu.net/>



地域チカラ